

# 医療部調査報告2016

## ～大規模災害に関するアンケート調査～

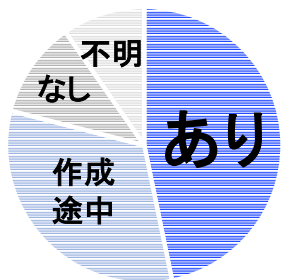
高知県理学療法士協会の会員が所属する施設の理学療法士代表者から回答を得た。

**124/196施設**  
**回答率: 63.3%**



※平成28年度 高知県理学療法士協会会員所属施設名簿に掲載されている全196施設

### 災害マニュアル

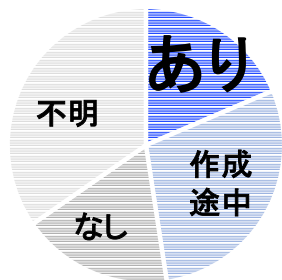


災害マニュアルあり

**46.8%**

**マニュアル整備が不十分。**

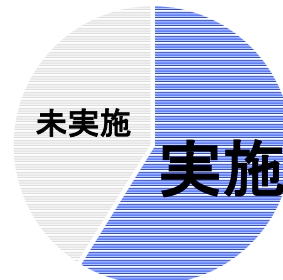
### BCP(事業継続計画)



BCP策定済み

**18.5%**

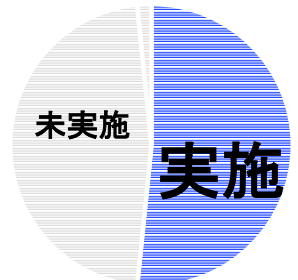
### 災害訓練



災害訓練実施

**58.9%**

### 災害研修



災害研修実施

**51.6%**

**災害対策が不十分?**

### 理学療法士の被災地派遣経験(過去)



9施設が派遣経験あり

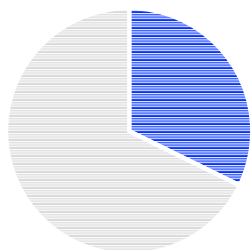
### 理学療法士の被災地派遣協力(将来)



18施設が派遣に協力可能

**被災地派遣経験のある施設、今後派遣可能な施設は少ない。**

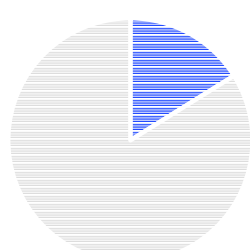
### JRATの認知度



知っている

**32.3%**

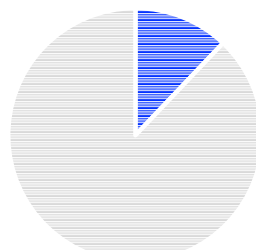
### 高知JRATの認知度



知っている

**16.5%**

### 災害リハビリテーションコーディネーターの認知度

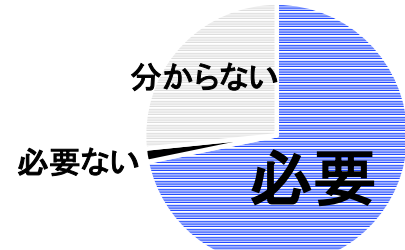


知っている

**12.2%**

**認知度が低い。**

### 協会・士会での災害リハ研修の必要性



研修は必要

**71.8%**

**災害リハ研修の必要性あり。**

# アンケート調査結果を踏まえて

南海トラフ巨大地震への備えとして、各施設での災害対策が不十分。

理学療法部門での災害対策の認識が薄い？

大規模災害時に、各施設からの理学療法士派遣は難しい。

自施設での人員、派遣による損失や補償の問題。

JRATを活用して補償等の問題が解決。

そのJRAT等の認知度が低い。

高知県理学療法士協会医療部で情報提供が必要。

大規模災害に関する研修のニーズはある。

高知県理学療法士協会医療部で研修等を企画。

## 南海トラフ巨大地震で重要な役割を担う医療機関 (高知県庁ホームページより)

### 【災害拠点病院:12機関】

高知医療センター(広域災害拠点)、高知大学医学部附属病院(広域災害拠点)、高知赤十字病院(広域災害拠点)、あき総合病院、JA高知病院、近森病院、国立病院機構高知病院、仁淀病院、土佐市民病院、くろしお病院、くぼかわ病院、幡多けんみん病院

### 【救護病院:64機関】

室戸病院、森澤病院、海南病院(徳島県)、田野病院、芸西病院、南国厚生病院、藤原病院、野市中央病院、香北病院、前田メディカルクリニック、岩河整形外科、嶺北中央病院、大杉中央病院、大田口医院、高知脳神経外科病院、高知生協病院、高知西病院、細木病院、国吉病院、竹下病院、愛宕病院、いずみの病院、三愛病院、函南病院、高知高須病院、高知厚生病院、潮江高橋病院、長浜病院、海里マリン病院、永井病院、リハビリテーション病院すこやかな杜、高知整形・脳外科病院、田中整形外科病院、もみのき病院、平田病院、土佐市民病院、仁淀病院、高北病院、山崎外科整形外科病院、前田病院、北島病院、山崎病院、岡本内科、若槻産婦人科クリニック、高陵病院、なかとさ病院、くぼかわ病院、梶原病院、大西病院、大井田病院、聖ヶ丘病院、筒井病院、木俵病院、竹本病院、森下病院、中村病院、西土佐診療所、沖の島診療所、渭南病院、足摺病院、松谷病院、四万十市民病院、大月病院、三原村診療所